

宮古ビデンス・ピローサに関する発表の記録

060331 現在

	学会名・所載等	表 題	発表者(所属機関)
1	日本薬学会第 120 年会 (岐阜) 2000.3.29～31.	実験的糖尿病に対する民間薬の 効果	堀内ら(星薬大)
2	日本生薬学会 第 47 回年会(東京) 2000.9.7～8.	宮古ビデンス・ピローサの糖尿病 モデルマウスに対する作用につ いて	櫻井ら(武蔵野免疫研)、宮 崎(フレックス)、松尾ら(北里 大)、奥山(明治薬大)、瀬山 (星薬大)
3	日本皮膚科学会 第 758 回東京地方会 2000.10.28.	健康茶による Livedo reticularis with summer ulceration の夏季潰 瘍再発予防	増澤ら(北里大)、桜井(武蔵 野免疫研)
4	第 5 回 Japan Society for Food Factors 2000.11.27～28.	<i>Bidens pilosa</i> の細胞障害活性	城市ら(明治薬大)、山崎(自 治医大病薬)
5	皮膚病診療 23, (No.1) 70(2001)	治療—私のおすすめ「健康茶に よる夏季潰瘍の再発予防」	増澤(北里大医)
6	第 24 回 皮膚脈管・膠 原病研究会 2001.1.25～26.	Livedo reticularis with summer ulceration の夏季潰瘍は再発予 防できるか?	増澤ら(北里大医)、桜井(武 蔵野免疫研)
7	日本薬学会 第 121 年会(札幌) 2001.3.28～30.	<i>Bidens pilosa</i> の抗炎症効果と新 規ジアセチレン化合物の構造	城市ら(明治薬大)
8	第 25 回 皮膚脈管・膠原病研究 会(鹿児島) 2002.1.31.	Livedo reticularis with summer ulceration の夏季潰瘍に対する “かんぼう茶”の予防効果: 2 年目平成 13 年度の評価	増澤ら(北里大医)、桜井(武 蔵野免疫研)
9	日本薬学会 第 122 年会(千葉) 2002.3.26～28.	宮古ビデンスピローサの成分とラ ジカル消去作用に関する研究	草野ら(大阪薬大)、宇佐美 (茅ヶ崎市立病院)瀬山(星 薬大)
10	同 上	実験的創傷治癒モデルにおける <i>Bidens pilosa</i> の効果	小茂田ら(星薬大)
11	第 1 回「しま興し講演 会」・「宮古ビデンス・ピ ローサ研究会」 2002.7.20.(於城辺町)	宮古 B.p.を活用した農業振興と 健康づくり;宮古 B.p.はどんな病 気に効くか、皮膚科の医師から見 た宮古 B.p.の可能性、ほか	主催:城辺町(宮古島) 共催:武蔵野免疫研、ほか 演者:瀬山星薬大教授、 増澤北里大医教授、ほか
12	皮膚病診療 24, (No.9)1023(2002)	全身療法—自験例を中心にして —	増澤(北里大医)
13	第 54 回日本皮膚科学 会西部支部学術大会 2002.11.9～10.	かんぼう茶が著効した Livedo with ulcer の重症例	増澤ら(北里大医)
14	第 26 回皮膚脈管・膠原 病研究会(千葉) 2003.1.30～31.	夏季潰瘍に対する“かんぼう茶” の予防効果 3 年目平成 14 年度の評価	増澤ら(北里大医)、桜井(武 蔵野免疫研)

	学会名・所載等	表 題	発表者(所属機関)
15	日本皮膚科学会第 353 回北海道地方会 2003.2.8.	“かんぼう茶”による Livedo reticularis with summer ulceration (LRSU)の潰瘍予防治療	増澤ら(北里大医)、桜井(武蔵野免疫研)
16	日本薬学会第 123 年会(長崎) 2003.3.27~29.	<i>Bidens pilosa</i> のマクロファージ活性化能	小塚ら(明治薬大)
17	同 上	ヒト線維肉腫細胞に対する <i>Bidens pilosa</i> 処理による Matrix Metalloproteinase 発現変化の検討	安藤ら(星薬大)、小林(千葉大医)、草野(大阪薬大)
18	同 上	<i>Bidens pilosa</i> に含まれる新規フラボノイドは線維芽細胞の増殖を促進する	山道ら(星薬大)、小林(千葉大医)、草野(大阪薬大)
19	Natural Medicines(生薬学雑誌) 57, (N0.3)100(2003)	Studies on the Antioxidant Active Constituents of the Dried Powder from <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>radiata</i> SCH.	草野ら(大阪薬大)、瀬山ら(星薬大)、宇佐美(茅ヶ崎私立病院)
20	第 2 回「しま興し講演会」・「宮古ビデンス・ピローサ研究会」 2003.10.18. (於宮古島平良市)	地域資源を生かしたしま興し講演会;宮古 B.p.の特色、“かんぼう茶”が血液レオロジーに及ぼす影響、糖尿病合併閉塞性動脈硬化症に対する“かんぼう茶”の臨床効果、ほか	主催:城辺町(宮古島) 共催:武蔵野免疫研、ほか 演者:瀬山星薬大教授、飯島水戸済生会総合病院皮膚科部長、姫井倉敷生活習慣病センター長、ほか
21	第 10 回日本ヘモレオロジー学会(神戸) 2003.11.5~6.	かんぼう茶が血液レオロジーに及ぼす影響	飯島ら(水戸済生会総合病院)、高橋ら(食総研)、桜井(武蔵野免疫研)
22	日本糖尿病学会中国四国地方会 第 41 回総会(高松) 2003.11.21~22.	糖尿病性大血管障害に対するかんぼう茶の効果	青山ら(倉敷生活習慣病センター)、宮下(三菱水島病院)
23	日本薬学会 第 124 年会(大阪) 2004.3.29~31.	<i>Bidens pilosa</i> の細胞増殖促進作用	輪千ら(星薬大)、馬場ら(明治薬大)小林(千葉大医)
24	第 103 回 日本皮膚科学会総会(京都) 2004.4.16~18.	Livedo reticularis with summer ulceration (LRSU)の夏季潰瘍に対する“かんぼう茶”の予防効果—4年間調査結果の総合評価—	増澤ら(北里大医)、桜井(武蔵野免疫研)
25	第 3 回「しま興し講演会」・「宮古ビデンス・ピローサ研究会」 2004.10.9. (於宮古島平良市)	地域資源を生かしたしま興し講演会;宮古 B.p.の生理活性、“むつうさ”が主成分のお茶による病気の予防、宮古島農業の活性化と地下水保全の共生を目指して、ほか	主催:城辺町(宮古島) 共催:武蔵野免疫研、ほか 瀬山星薬科大学教授、増澤北里大学医教授、前里宮古農林高校教諭
26	薬学雑誌 124, (No.11)847(2004)	天然物中の水溶性抗酸化因子及び脂溶性抗酸化因子による抗酸化作用の評価	宇佐美(茅ヶ崎市立病院)、草野(大阪薬大)、片寄ら(星薬大)

	学会名・所載等	表 題	発表者(所属機関)
27	日本皮膚科学会雑誌 115, (N0.1)7(2005)	Livedo reticularis with summer ulceration の夏季潰瘍に対する “かんぼう茶”の予防効果	増澤ら(北里大医)
28	第 4 回「しま興し講演 会」・「宮古ビデンス・ピ ローサ研究会」 2006.1.28. (於宮古島市)	地域資源を生かしたしま興し講演 会;宮古ビデンス・ピローサと抗酸 化作用、宮古ビデンス・ピローサ の研究、ほか	主催:城辺町(宮古島) 共催:武蔵野免疫研、ほか 安仁屋琉大大学院教授、 河本日本化粧品技術者会副 会長、
29	日本皮膚科学会 第 142 回鹿児島地方会 2006.3.17~19	地図状舌のかんぼう茶治療	増澤ら(北里大医)
30	第 105 回 日本皮膚科学会総会 (京都) 2006.6.2~4	リベド血管炎 (教育講演“血管炎とよばれる疾 患”)	増澤(北里大医)